

研究に関するお知らせ

(研究の名称：急性呼吸不全症例におけるジャクソンマスク換気使用下
気管支鏡検査の有効性・安全性の検討)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 呼吸器内科は、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

急性呼吸不全の原因疾患を鑑別するために、気管支鏡検査は有用な検査であるが、どのような手段を用いて行うかは明確な指針がありません。鼻カニューラや酸素マスクで酸素化が不十分な症例に対して、非侵襲的陽圧換気や高流量鼻カニューラ酸素療法を使用した例は数多く報告され、有用性が示されています。ジャクソンリース回路は用手的な換気器具の1つであり、急変時や搬送時の気道確保時に使用されています。急性呼吸不全を呈した症例に対する気管支鏡検査において、ジャクソンリース回路による用手的マスク換気（ジャクソンマスク換気）を行うことに対する有効性については限られた報告しかないので、これを評価することを目的としています。2015/1-2018/5の期間に当院当科で気管支鏡を施行した症例のうち、急性呼吸不全を呈しており、ジャクソンマスク換気を要した症例と、急性呼吸不全を呈していたが、従来の酸素療法を施行した群を有効性、安全性について比較観察検討します。

■研究期間

西暦2019年10月11日～西暦2021年3月31日

■研究の対象となる方

2015/1-2018/5の期間に当院当科で気管支鏡を施行した成人の方

■研究に用いる試料・情報の種類

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報（現病歴、バイタル、検査結果等）を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報に厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。
ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■利益相反

本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反状態はありません。また、利益相反については、NCGM利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理しておりますのでご安心ください。

■研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 呼吸器内科 鈴木学

■お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

所属・役職：呼吸器内科 レジデント

氏名：工田啓史

電話番号：03-3202-7181（代表） 内線：4127

受付日時：平日 9時-17時

メールアドレス：htakumida@hosp.ncgm.go.jp